

保護者の皆様

東京都立青山高等学校長
小澤 哲郎

平成 29 年度第 1 回授業評価の結果について

日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り御礼申し上げます。
平成 29 年 6 月 21 日付 29 青山高第 355 号「授業評価アンケート調査等の IT 化について」によりお知らせした調査のうち、7 月に実施した標記の調査結果について、下記のとおり報告申し上げます。

記

1 概況

各教科・科目、各担当教諭の評価は、大差がなく、いずれも肯定的評価が 8 割から 9 割を占めるなど良好な結果でした。また、授業を通して学力や技能の向上を実感している生徒の割合は、授業に取り組む姿勢の違いによって極めて大きな差異が見られました。

2 特徴的傾向

(1) 調査（質問）内容

質問 1	先生は、この授業の目標・ねらいをきちんと伝えてありますか
質問 2	先生は、授業時間内や課題・宿題等で、この授業で覚えた知識・技能を活用する機会を与えていますか
質問 3	この授業によって学力や技能の向上を実感していますか
質問 4	この授業に自分なりの課題や目標をもって取り組んでいますか

※ 各生徒が受けている全ての教科・科目について、それぞれ四つの質問を行い、「当てはまる」「やや当てはまる」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の四段階で回答してもらいました。

(2) 特徴的傾向

ア 1 学年数学 I 回答数 280 名

質問 4 に「当てはまる」「やや当てはまる」と肯定的に答えた生徒は 241 名で、全体の 86.7% でした。これらの生徒たちは、質問 1、2 及び 3 について、図 1 のとおり、いずれも 8 割以上が肯定的回答をしています。一方、質問 4 に「やや当てはまる」と回答している 111 名についてのみ見てみると、質問 1、2 及び 3 について、図 2 のとおり、肯定的回答の割合は大差ないものの、「当てはまる」と回答している生徒の割合は概ね半減しています。これに対して、同様に質問 4 に「当てはまる」と回答している 130 名についてのみ見てみると、質問 1、2 及び 3 について、図 3 のとおり、いずれも「当てはまる」だけで 9 割前後を占めました。

図 1

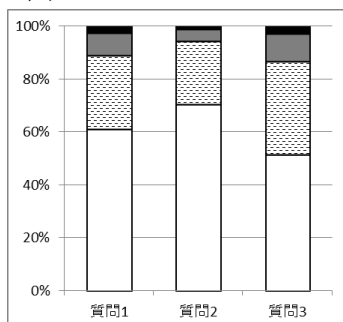


図 2

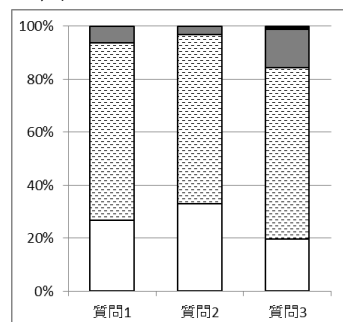
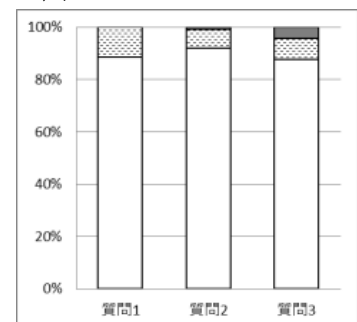


図 3



	当てはまらない
	あまり当てはまらない
	やや当てはまる
	当てはまる

イ 2 学年コミュニケーション英語 II 回答数 237 名

質問 4 に「当てはまる」「やや当てはまる」と肯定的に答えた生徒は 210 名で、全体の 88.6% でした。これらの生徒たちは、質問 1、2 及び 3 について、図 4 のとおり、いずれも 9 割以上が肯定的回答をしています。一方、質問 4 に「やや当てはまる」と回答している 97 名についてのみ見てみると、質問 1、2 及び 3 について、図 5 のとおり、肯定的回答の割合は大差ないものの、「当てはまる」と回答している生徒の割合は概ね 3 分の 1 から 4 分の 1 に減少しています。これに対して、同様に質問 4

に「当てはまる」と回答している 113 名についてのみ見てみると、質問 1、2 及び 3 について、図 6 のとおり、いずれも「当てはまる」だけで 9 割以上を占めました。

図 4

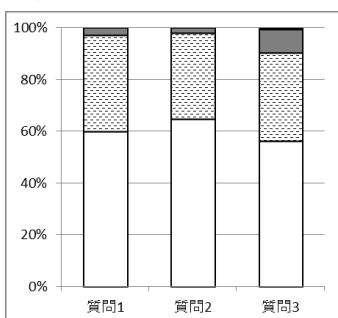


図 5

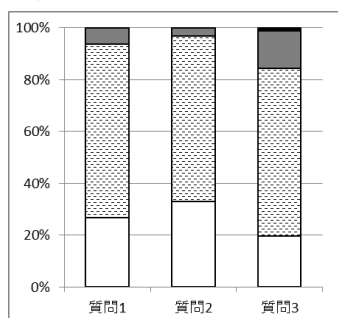
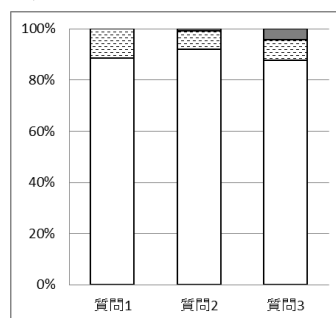


図 6



	当てはまらない
	あまり当てはまらない
	やや当てはまる
	当てはまる

ウ 3 学年国語 現代文 回答数 270 名

質問 4 に「当てはまる」「やや当てはまる」と肯定的に答えた生徒は 224 名で、全体の 83.0% でした。これらの生徒たちは、質問 1、2 及び 3 について、図 7 のとおり、いずれも 9 割以上が肯定的回答をしています。一方、質問 4 に「やや当てはまる」と回答している 107 名についてのみ見てみると、質問 1、2 及び 3 について、図 8 のとおり、肯定的回答の割合は大差ないものの、「当てはまる」と回答している生徒の割合は概ね半減から 3 分の 1 以下に減少しています。これに対して、同様に質問 4 に「当てはまる」と回答している 117 名についてのみ見てみると、質問 1、2 及び 3 について、図 9 のとおり、いずれも「当てはまる」だけで 9 割以上を占めました。

図 7

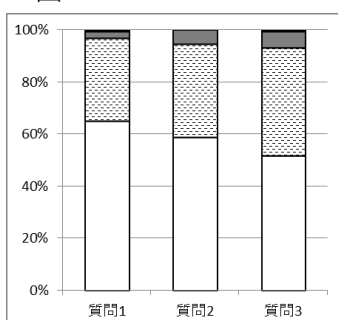


図 8

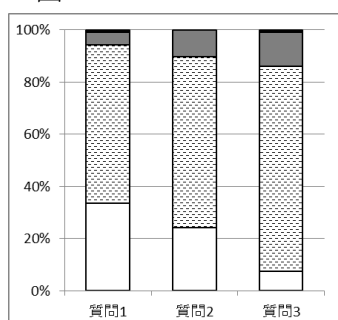
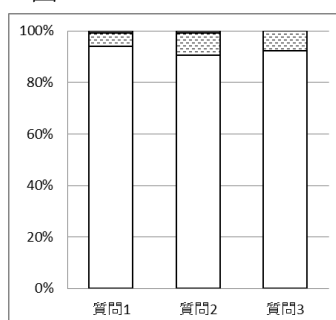


図 9



	当てはまらない
	あまり当てはまらない
	やや当てはまる
	当てはまる

(3) 分析

いずれの教科・科目においても、質問 4 に「当てはまる」と答えた生徒、すなわち「授業に自分なりの課題や目標をもって取り組んでいる」生徒は、その圧倒的多数が「授業で覚えた知識・技能を活用する機会が与えられ」、「授業によって学力や技能の向上を実感している」ことが分かります。この「授業に自分なりの課題や目標をもって取り組んでいる」という姿勢が若干弱い、「やや当てはまる」と答えた生徒たちとは歴然とした違いが見られます。授業に当たり、生徒が課題・目的意識をもつよう仕向けていくことが、学力や技能の向上をもたらす一つの鍵であることがうかがえます。

このことを踏まえ、引き続き授業を中心とした指導の充実に向けて努めて参ります。ご家庭におかれましても、お子様に対して課題・目的意識をもつことの重要性をご教授くださるようお願いいたします。

3 その他

- (1) 主要 5 教科の科目別調査結果のデータは、学校ホームページに掲載します。ただし、選択者の少ない科目は割愛します。
- (2) ご不明なことがありましたら、以下の担当までお問合せください。

【担 当】
副校長 岡田 貴夫
電話 03-3404-7801